

第68回国民体育大会スポーツ祭東京2013ハンドボール競技

競技日	10月6日(日)	試合番号	A-16	準決勝
種別	成年男子	会場	墨田区総合体育館	

試合結果・戦評報告

Aチーム名			Bチーム名		
埼玉県			広島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
27	14	前半	12	26	
	13	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7MTC			

戦評

成年男子準決勝第1試合、前回王者埼玉県対広島県の試合は埼玉県4番信太のミドルシュートで幕が開いた。その後は両者ともに激しいオフェンスとディフェンスのぶつかり合いで一步も引かず、開始10分で6対6の同点。その後、ミスが重なった広島県に対し、6番豊田ら足を使った速い展開に持ち込み3連続得点、広島県を突き放しにかかる。前半開始16分、4点差に開いたところで広島県がタイムアウト。流れを変えたい広島県は足を使った6-0ディフェンスで相手の攻撃をシャットアウト。7番成田、11番樋口を中心としたミドルシュートなどで着実に得点を重ね、前半開始23分には11対11のタイに戻した。その後は王者の意地を見せた埼玉県が4番信太らのミドルシュートで加点するも、14対12の僅差で埼玉県がリードで前半を終える。

リズムに乗りたい埼玉県は後半開始から3-2-1ディフェンスに変更し、高い位置でボールを奪い、得意の速攻で得点を重ねた。しかし、広島県も豊富な運動量で速攻を防ぎ、また1番GK志水の気迫あふれるセーブもありなかなかゴールを割らせない。広島県は9番野村のサイドシュートなどで得点をあげ、後半12分には20対20と試合を振り出しに戻した。その後、両者とも手に汗握る攻防が続く、満員の会場も熱気に包まれた。先に均衡を破ったのは広島県。3番坂本の4連続得点でついに広島県が逆転に成功。後半残り7分で25対23の2点差とする。しかし、広島県の反撃もここまで。埼玉県は2番時村らの速攻で3連続得点を含む4点をあげ、試合終了。昨年同様、埼玉県は決勝へと駒を進めた。

送信日時	10月 6日(日)	12:40	送信者名	墨田会場
------	-----------	-------	------	------